

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.7

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

沖縄を戦場にさせない 全国・全世界と団結しよう

11月23日、岸田政権の大軍
拡を許さず、対話による問題



ガンバロー三唱をする赤嶺議員と党県議団

解決を求めて、県民平和大集
会(沖縄を再び戦場にさせ
ない県民の会「主催」が奥武
山公園で行われました。

晴天となったこの日、集会
には1万人超(主催者発表)
が参集。玉城デニー知事は
「不条理が存在する限り、沖
縄県民はひるむことなく平
和の声を上げ続けていこう」
と呼びかけ、軍備強化の進む
各地から現地報告。全国、全
世界と団結して戦争を止め
る決意を内外に発信すると

平和への突破口開いた県民集会

衆議院議員 赤嶺 政賢

11月23日開催された県民
平和大集会は、1万人超え
の参加者で大きく成功した。
軍事要塞化がすすむ沖縄県
下各地の代表が抗議の声を
あげた。

中央メディアは米国の

「戦争を好み軍拡を進め
る人たちを選ぶな」。沖国大
の前泊教授は訴えた。「私た

した集会宣言を拍手で採択
しました。

赤嶺政賢議員も日本共産
党県議団と集会に参加。参加
者と交流し、平和への決意を
固めました。



具志堅隆松共同代表と握手する赤嶺議員

「台湾有事」戦
略のプロパガ
ンダに巻き込
まれている。ニュース番組で
は軍事評論家を次々登場さ
せ、「沖縄は戦場になる」と
脅しつづけている。
「戦争を好み軍拡を進め
る人たちを選ぶな」。沖国大
の前泊教授は訴えた。「私た



小学1
年生の孫が
初めての運
動会を前に
1週間近く
発熱し、学
校の休みが
続いた。じ
いじは気が

気でない▼なかなか熱が
下がらない様子で、今年
の運動会の見学をあきら
めかけていたところへ、担
任の先生から「早く元気
になってね」と電話が入っ
た▼先生からの電話を孫
は大変喜んだ。熱もおさ
まり、運動会に無事に出
ることができた▼教員不
足が問題になっている。モ
ニターを使って先生一人
で3クラス同時授業の
ニュースには大変驚かさ
れた▼先生が余裕をもっ
て子どもに向き合うこと
がどんなに大事か。孫が
元気よく登校する様子を
見て、そのことを改めて
感じた。

普天間基地は無条件撤去を 衆院予算委で岸田首相を追及

赤嶺政賢議員は11月22日の衆院予算委員会、辺野古新基地建設を強行する岸田政権を追及しました。赤嶺議員は普天間基地が占領下に住民の土地を囲い

込んで建設され、本土復帰後は政府が滑走路や格納庫を整備し、米軍部隊が移駐した経緯に言及。岸田首相は「米軍が土地を接収し建設された」「P3Cや岩国基地からの移転などの経緯を経て現在のよ

うな運用が行われるようになった」と認めました。赤嶺議員は「危険な基地にしたのは日米両政府自身だ。基地の無条件撤去を求めました。



岸田首相を追及する赤嶺議員

地からの移転などの経緯を経て現在のよ

うな運用が行われるようになった」と認めました。赤嶺議員は「危険な基地にしたのは日米両政府自身だ。基地の無条件撤去を求めました。

この間の活動

- うるま市で沖縄人民党合流50年講演。■民医連の記念レセプションで挨拶(10月22日)
- トマホークいらない!!10・26緊急官邸前行動で挨拶(同26日)
- うりずんの会と沖縄等米軍基地問題議員懇談会で辺野古代執行訴訟取り下げを求める国交省要請(同27日)



- 産業まつりに参加。■屋良ともひろ衆議院議員の激励会で挨拶(同28日)



(産業まつり)

- 渡久地修県議、西中間久枝那覇市議と儀保駅で街頭宣伝(同30日)
- 沖縄県功労者表彰式典・祝賀会に出席(11月3日)
- 全沖縄製糖労働組合55回定期大会で挨拶(同4日)
- 小禄地区運動会に参加。■北谷ドームで行われた「国による代執行を許さない!デニー知事と共に地方自治を守る県民大集会」に参加。■建交労沖縄県本部第25回定期大会で挨拶(同5日)
- 沖縄等米軍基地問題議員懇談会に出席(同14日)
- 離島フェアに参加(同25日)

あかみね政賢

市議・国会議員35年の実績・足跡(7)

雇用とくらしを守る調査と申し入れ

米軍基地の拡大強化と正面から対決する論戦を展開

首を切られて路頭に放り出された派遣労働者の実態調査と生活支援や、キャノン、ホンダ、日産などの輸出大企業に直接でかけ、雇用を守る責任を果たすよう求めました。辺野古新基地建設を強行し、海外での米軍基地建設に日本の財政負担を約束するグアム協定の不当性や、日米地位協定をめぐる政府間の密約、海賊対処を口実にしたソマリア沖への自衛隊派遣に反対の国会質問を繰り返しました。

党と自民党は何も変わらなことが明らかになりました。「普天間基地問題」で裏切られた沖縄の怒りは、ますます沸騰するばかりです。金あまりの大企業には減税措置をとり、雇用や社会保障は切り捨てたままの不公平な政治が続いています。

日本共産党の真価を発揮する時代

このような2大政党の政治に、国民自らが声をあげはじめました。名護市長選挙の勝利、「よみがえれ、有明海」の裁判勝利、沖縄県知事選挙での伊波洋一さんの奮闘など、昨年は歴史的な前進があいつぎました。日本共産党の目指す「国民が主人公」の政治実現のため、ますます頑張る決意です。

不公平な政治に改革のメスを

政権交代から1年、民主

より『2009年8月号』

より『2011年1月号』